

1. 地域貢献事業研究 課題一覧

当センターでは、本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する事業研究を対象として『地域貢献事業研究費』を配分しています。2013 年度は計 9 件（区分 A:6 件、区分 B:3 件）、計 2,993,615 円の申請があり、保健福祉実践開発研究センターによる審査を経て、大学部長会での審議の結果、6 件の課題を採択し、計 1,281,099 円の事業研究費を配分しました。研究課題 6 件の報告書を当年報（P.31～）に掲載しておりますので、併せてご覧ください。

（区分）

A：本学周辺地域の保健医療福祉の向上を目的とし、地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究

B：本学周辺地域の保健医療福祉の向上を目的とし、地域との基盤作りとしての事業に関する共同研究

所属※	研究代表者	職位	区分	研究課題	対象地域	配分額 (円)
看護	伊藤純子	助教	A	保健専門職が対応するクレーム特化型研修プログラムの共同開発	浜松市を中心として静岡県全域	195,125
介護	野田由佳里	准教授	A	介護福祉士資格取得後に職場定着に影響を及ぼす促進要因に関する研究	静岡県全域	162,060
リハ PT	西田裕介	教授	A	高齢者における身体機能と運動時の疲労に対する適応能力に関する研究	浜松市北区	308,800
リハ PT	金原一宏	助教	B	地域在住高齢者を支えるリハビリサポート体制の構築	浜松市北区・中区	257,516
リハ OT	伊藤信寿	准教授	B	発達障害をもつ児童への支援の確立、および少～青年期の支援研究	浜松市	86,220
リハ ST	池田泰子	准教授	B	地域における言語聴覚士の専門性の活かし方を検証～ことばの教室の先生を対象とした機能性構音障害のスキルアップ研修を開講～	静岡県西部地域（浜松市・磐田市・袋井市）	271,378
合計						1,281,099

※看護＝看護学部、介護＝社会福祉学部介護福祉学科、リハ＝リハビリテーション学部、PT＝理学療法学科、OT＝作業療法学科、ST＝言語聴覚学科

<地域貢献事業研究 報告会>

2012 年度に地域貢献事業研究費の配分を受け実施された事業研究の報告会を下記日程で開催しました。

日時：2013 年 11 月 2 日（土）10 時 00 分～15 時 00 分 ※聖灯祭・ホームカミングデーと同日開催

場所：聖隷クリストファー大学 1 号館 4 階 1409 中教室

発表：ポスター発表および口頭発表 来場者数：119 名

地域貢献事業研究費 2013 年度募集要項

保健福祉実践開発研究センター「地域貢献事業研究費」について、下記の要領で研究計画を募集します。

1. 基本方針

保健福祉実践開発研究センターの柱のひとつである「保健医療福祉分野に係るすべての人たちとの共同研究・事業」を推進し、共同で課題解決を図るために、本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する研究を対象とした事業研究費を募集します。

2. 対象となる研究および事業研究費の金額

本学周辺地域の保健医療福祉の向上を目的とし、

A：地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究

B：地域との基盤作りとしての事業に関する共同研究

- ・実習先・就職先施設等と連携した研究であればなお望ましい。
- ・研究費の配分総額は130万円、1件当たり最大40万円です(共同研究費とは上限額が異なります)。なお、地域貢献事業研究費の総額は、並行して募集する共同研究費の申請状況も考慮し、大学全体の研究費予算の枠内で柔軟に対応していきます。(配分総額は、2013年度予算決定をもって確定しますので、変わる可能性があります)
- ・配分対象の経費および単価基準は、「共同研究費取り扱い要領」の「7. 申請できる経費」に準じますのでご確認ください。要領と異なる取り扱いを希望する場合は、その理由と算出根拠を記載してください。
- ・限られた予算を有効に配分するため、既に研究室に備えられているパソコン、プリンター、総務部で貸出をしているデジカメ、ビデオカメラ、ICレコーダー等の申請はできるだけご遠慮ください。特別な事情により申請をする場合は、計画書に申請理由を添付してください。

3. 対象期間

2013年4月1日～2014年3月31日

4. 研究成果の提出

- ・研究代表者は、研究期間内における研究課題の成果を取りまとめ、研究成果報告書を2014年6月末日までに保健福祉実践開発研究センターに提出してください。
- ・研究代表者は、保健福祉実践開発研究センターが企画する報告会等で発表する義務を負います。

5. 審査の方法

保健福祉実践開発研究センターは、配分案を検討するにあたり、申請された計画書に対して以下の項目を目安にして審査をします(A・Bそれぞれ15点満点。絶対評価)。

項 目	A	B
(1-A) 本学周辺地域の保健医療福祉の向上にどのように貢献できるか <5点満点>	○	—
(1-B) 本件が地域との基盤作り等である場合の将来展望 <5点満点>	—	○
(2) 研究計画・方法の妥当性 <5点満点>	○	○
(3) 申請経費の妥当性 <5点満点>	○	○